I肺がん41

対象疾患	小細胞肺がん	レジメン名	Atezo+ETP+CBDCA療法（Atezo+CE療法）
1コースの期間（休薬期間含む）		21日	
総コース数	4コース		

Rp.	薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	生食100 mL（ルートキープ用）	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1~3
2	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1~3
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			day 1
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
3	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 1
4	アテゾリズマブ（Atezo）	1200 mg/body	点滴静注	60分 ※備考欄参照	day 1
	生食250 mL	1 P			
5	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	エトポシド（ETP）	100 mg/m^2	点滴静注	2時間	day 1~3
	生食500 mL	1 P			
7	カルボプラチン（CBDCA）	AUC 5	点滴静注	60分	day 1
	5%ブドウ糖注射液250 mL	1 P			
8	生食50 mL（フラッシュ用）	1 P	点滴静注	全開	day 1~3

血管外漏出リスク分類	Atezo: 非炎症性　ETP：炎症性　CBDCA: 炎症性
催吐性リスク分類	レジメン全体：中等度（Atezo: 最小度　ETP：軽度　CBDCA：中等度）
インラインフィルターの要不要	本レジメンのday 1については、インラインフィルターを使用してはならないETPとインラインフィルターが必要なAtezoが混在しているためルートに注意が必要である。当院では、Rp.1、6~8はインラインフィルターなしのルートで投与し、Rp.2~5は0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを通して投与することとしている。 また、day 2~3は、抗がん剤はETPのみとなるため、インラインフィルターを使用しないルートを用いて全Rp.投与する。
備考欄	※Atezoの2回目以降は、初回時に忍容性が良好であれば投与時間を30分まで短縮可能である。 ※CBDCA投与量計算は、Calvert式（投与量$_{(mg)}$=目標AUC$_{(min・mg/mL)}$×（GFR$_{(mL/min)}$+25））を用いる。